

「感性と省エネルギー」に関する研究会

震災における電力不足に伴い、省エネルギー化が再度話題となり、また近年、いろいろなセンサーを用いた測定技術が普及し、心理・生理・行動指標などから感性的な仕組みを考慮した情報システムが構築されつつある。今までの省エネルギー化は効率面からのアプローチであったが、それに加え、情報システムを用いて感性の観点から快適な環境をデザインすることによって、省エネルギーにつながるのではないかという視点から本研究会を開催する。本研究会では例えば、実空間や機器内に各種センサーを埋め込み、そのデータ処理をすることによって快適な情報環境を構築し、また、省エネルギー化方法についても実現を交えて紹介していく。

主催 : 日本建築学会 情報システム技術委員会 感性デザインシステム応用研究小委員会

後援 : 日本感性工学会

日時 : 2012年3月15日(木) 13:00~17:00

会場 : 建築会館会議室(東京都港区芝5-26-20)

プログラム

総合司会 : 林田和人(早稲田大学)

■主旨説明

: 柴田滝也(東京電機大学)

■主題解説

1. 省エネルギーCO₂削減のための建築性能モニタリングによる見える化
: 馬郡文平(東京大学)
2. ローコストモニタリング技術を活用したバイオクライマティックアクティビティの誘導
: 遠田 敦(東京理科大学)
3. ICTを活用した環境制御による省エネ事例
: 平山信彦(内田洋行)
4. Smart & GreenITy Building
: 塚田敏彦(NTTファシリティーズ)

■パネルディスカッション

司会 : 猪里孝司(大成建設)

■まとめ

: 加藤俊一(中央大学)

定員 : 40名(申込先着順)

参加費 : 会員2,000円、後援団体会員2,300円、会員外2,500円、学生1,000円 *資料代含む

申込方法 : E-mailで「催物名称、上記参加費種別および(本会・後援団体会員の場合)会員番号、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス」を明記のうえお申し込みください。

*会員番号の記載がない場合は、会員外として扱わせていただきます。ご了承ください。

申込期限 : 2012年3月8日(木)

申込み・問合せ : 日本建築学会研究事業グループ 伏見 fushimi@aj.or.jp